

- 1: 日本語生成パネル会合(10)議事録
2:
3: 日時: 2015年5月20日(水) 9:32 - 11:23
4: 場所: JPRS会議室
5: 出席者(順不同):
6: 久保次三 専修大学
7: 後藤滋樹 早稲田大学
8: 堀田博文 JPRS
9: 前村昌紀 JPNIC(9:38-)
10: 村上嘉隆 株式会社ブライツコンサルティング
11: 米谷嘉朗 JPRS
12: 是枝祐 JPNIC(事務局)
13: 高松百合 JPRS(事務局)
14: 欠席者(順不同):
15: 小西和憲 APAN-JP事務局長
16: 田代秀一 情報処理推進機構
17:
18:
19: アジェンダ:
20: (1) 前回議事録確認
21: (2) CJKでの調整結果共有
22: (3) CJK会合の結果を受けたJGPの対応
23: (4) 日本コミュニティとのコミュニケーションプラン検討
24: (5) 今後の予定
25: (6) その他
26:
27:
28: 資料:
29: 1 日本語生成パネル会合(10)アジェンダ
30: 2 日本語生成パネル会合(9)議事録(案)
31: 3 CJK調整委員会報告
32: 4 今後の検討課題
33: 5 JGPとしての検討課題への対応
34: 6 日本コミュニティとのコミュニケーションプラン
35: 7 今後の予定
36:
37:
38: 決定事項:
39: A 前回議事録は承認した。
40: B J-LGR-1ではWLEは定義しない、ということで仮決める。
41: C JGPとしての今後の検討課題について調査を行う。
42: D 今後のCJKでの調整の場には堀田、米谷、高松がJGPを代表して参加する。
43: E 次回開催は6月15日-17日の間で日程調整を行う。
44:
45:
46: 議事経緯:
47:
48: (1) 前回議事録確認[資料2]
49:
50: 前回議事録は承認された。
51:
52:
53: (2) CJKでの調整状況共有[資料3]
54:
55: 堀田博文・米谷嘉朗より5月15日~16日に韓国で実施したCJK調整委員会の報告を
56: 行った。
57:
58:
59: (3) CJK会合の結果を受けたJGPの対応[資料4、資料5]
60:

61: 堀田博文より、CJK調整委員会の結果を受け、JGPとして対応が必要な事項につい
62: て報告を行った。
63:
64: また、米谷嘉朗より具体的な対応案について提案を行い議論を行い、J-LGR-1で
65: はWLEを定義しないということを仮決定した。
66:
67: allocatableとする文字もしくは文字列を減らすか否かについては、引き続き
68: 米谷嘉朗が調査を行い、次回JGP会合で検証結果を報告することとし、議論が
69: 継続している部分については、今後も堀田・米谷。高松の3人が、必要に応じ
70: JGPと相談しながらCJKでの調整を行うこととした。
71:
72:
73: (4) 日本コミュニティとのコミュニケーションプラン検討[資料6]
74:
75: 周辺状況により、全体スケジュールが後ろ倒しとなっており、意見募集なども
76: 来年以降になる可能性が高い。
77:
78: 引き続き状況を確認しながら、意見募集とは別に、商標権者への周知活動などの
79: 開催を検討する。
80:
81:
82: (5) 今後の予定[資料7]
83:
84: 6月下旬のICANN会合前である6月15日(月)～6月17日(水)頃の次回JGP会合開催を
85: 調整することとした。
86:
87: ICANN会合時IDN関連のセッション参加予定者を事務局でとりまとめ、
88: CJKで共有する。
89:
90: -----
91: 以上